



2021年1月27日

各 位

会社名 北海電気工事株式会社  
代表者名 取締役社長 阿部 幹司  
(コード番号 1832 札証)  
問合せ先 執行役員企画部長 佐藤 邦弘  
(TEL 011-811-9400)

### 中期経営計画（2021-2025）策定に関するお知らせ

当社グループは、2021年度から2025年度までの5カ年計画とする新中期経営計画（2021-2025）を策定しましたので、お知らせいたします。

当社グループは、2015年度に「ビジョン2025」として将来にわたり持続的発展を遂げていく目標を掲げ、その実現に向けた第一ステップとして、中期経営計画（2016-2020）を策定し様々な取り組みを進めてきました。この間、電力分野については、2019年4月のほくでんグループの配電事業統合や、2020年4月の北海道電力株式会社の送配電部門分社化による北海道電力ネットワーク株式会社の発足など、当社の経営環境は大きな転換期となりました。

中期経営計画（2021-2025）では、これまでの諸施策を継続・強化するとともに、第二ステップとして新たな強化策を加え、電力分野（電力サポート事業）を基軸としつつ新たな事業分野にも挑戦しながら利益を創出し、新中期経営計画の最終年度にあたる2025年度の数値目標として売上高650億円以上、営業利益20億円以上を目指してまいります。

受注・社会環境の変化を「当社グループが進化するための好機」と捉え、持てる力を発揮し、持続的な成長の実現のため、挑戦してまいります。

※文中の2025年度の数値目標には、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を織り込んでおりません。このため、業績への影響が見通せた段階で、必要に応じて数値目標を見直します。

添付資料 中期経営計画（2021-2025）

以 上



# 中期経営計画

(2021-2025)

“ビジョン2025”の達成に向けて

2021年1月

北海電気工事株式会社

## はじめに

当社グループは、「ビジョン2025」で掲げた経営目標の達成に向け、中期経営計画（2016-2020）を策定し様々な取り組みを進めてきました。この間、電力分野については、2019年4月のほくでんグループの配電事業統合や、2020年4月の北海道電力株式会社の送配電部門分社化による北海道電力ネットワーク株式会社の発足など、当社の経営環境は大きな転換期となりました。

中期経営計画（2021-2025）では、これまでの諸施策を継続・強化するとともに、第二ステップとして新たな強化策を加え、電力分野（電力サポート事業）を基軸としつつ新たな事業分野にも挑戦しながら利益を創出する企業を目指していくこととしました。

受注・社会環境の変化を「当社グループが進化するための好機」と捉え、持てる力を発揮し、持続的な成長の実現のため、挑戦してまいります。

## 前中期経営計画の振り返り

### ◎ 総括

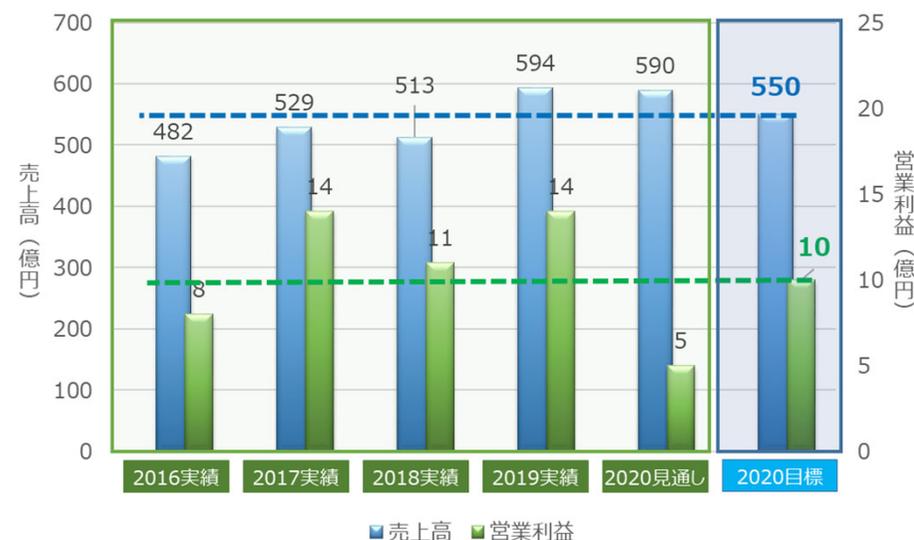
当社グループは、「ビジョン2025」で掲げた経営目標の達成に向け、中期経営計画（2016-2020）を策定し、当社の経営基盤である電力分野（電力サポート事業）を基軸としながら、電力外受注の拡大を図ってまいりました。

この結果、電力分野における配電事業統合や電力外分野における営業・施工体制の強化による再生可能エネルギー関連工事を中心とした受注拡大などにより、当初設定した2020年度の連結数値目標（売上高550億円、営業利益10億円）は、概ね前倒しで達成することができました。

一方で、最終年度の営業利益は未達を見込んでおり、本中期経営計画においても、さらなる収益力の強化や生産性向上に継続して取り組んでまいります。

《2020年度の数値目標の達成状況》

	2020年度（連結）	
	目標	見通し
売上高	550億円	590億円
営業利益	10億円	5億円



## 当社を取り巻く社会環境

### (1) 北海道の人口減少、高齢化進行

- ・北海道では人口減少や少子高齢化による働き手不足の状況が加速している。生産性向上、働き方改革に向けDX（デジタルトランスフォーメーション）などの活用について関心が高まっている。

### (2) 脱炭素社会の実現に向けた取り組みの進展

- ・脱炭素社会実現に向け再生可能エネルギー事業が多様化・大型化していると共に、ZEB<sup>※1</sup>・ZEH<sup>※1</sup>、VPP<sup>※2</sup>などへの関心がさらに高まっている。

### (3) 北海道における再開発事業案件の増加

- ・北海道新幹線札幌延伸、冬季五輪札幌誘致を見据えた札幌駅前再開発等、新たな再開発事業案件の増加が見込まれる。

### (4) 持続可能な地域社会実現への取り組みの進展

- ・事業活動を通じたSDGs達成に向けた社会貢献活動の重要性が高まっている。

※1 ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）：年間の消費エネルギー量の収支をゼロにする事を目指したビルまたは住宅

※2 VPP（バーチャル・パワー・プラント）：点在する小規模な再エネ発電や蓄電池等の設備をまとめて制御することで、一つの発電所のように制御する技術

## 基本方針

- ほくでんグループの一員として電力の安定供給に貢献する。
- エネルギー・トータル・ソリューションを展開するとともに、  
新たな事業を開拓し、総合設備企業として、さらなる発展を目指す。
- 企業体質のさらなる強化を図る。
- ESGの取り組みを通して地域社会へ貢献する。



## 重点施策

### **(1) 電力安定供給に貢献するため施工力確保と収益力強化**

- 効率的な業務運営体制の構築
- 効率化やカイゼン活動の推進

### **(2) お客さまニーズにお応えする総合設備企業として更なる発展を目指した受注拡大**

- 総合力を発揮した事業領域の拡大
- 新規事業の受注拡大に向けた取組の推進

### **(3) 企業体質の強化**

- デジタル技術やITを活用した業務効率化
- 働きがいのある職場づくり

### **(4) 地域社会への貢献**

- ESGの取り組みの展開による地域社会への貢献

将来の持続的な発展・成長のための  
投資レベル50億円程度



## 2025年度数値目標（連結）

	2025年度数値目標	2025年度数値目標 (見直し前)
売上高	650億円以上	600億円以上
営業利益	20億円以上	20億円以上

### 【数値目標の見直しについて】

今後の大型再生可能エネルギー関連工事の受注や既存事業である電設・管工事の受注シェア拡大等による売上増加を強力に進めることとし、売上高の目標を600億円以上から650億円以上としました。



## ◆おことわり

本資料に掲載されている将来の予測に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

実際の業績等につきましては、様々な要素により、記載されている見通し等とは異なる可能性がありますのでご承知おき下さい。

本資料に掲載されている情報は、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関するご決定は、ご自身のご判断において行うようお願いいたします。